

# 新斎場、平成30年供用開始目標に建設

町では、老朽化した現在の斎場に替わる新たな斎場の建設を予定しています。今後、予定地の調査や住民説明会を経て建設したいと考えていますので、皆さんのご理解ご協力をお願いします。

◆問い合わせ 町民課生活安全チーム（☎82-3111内線125）へ。

## ◎老朽化により新施設が必要に

現在の斎場（織笠地内）は、建設されてから34年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。これまで、駐車場や待合室などの増設・増築など改善に努めてきましたが、施設の限界から皆さんのニーズに十分に答えられない状況にあります。火葬炉についても炉

現在使用されている斎場

## ◎新斎場に求められるもの

- 委員会では、新斎場に4つの姿を実現したいと考えました。
- ①安らぎ：緑と静けさに包まれた落ち着いた環境の中にある
  - ②ゆとり：建物は広くゆったり

## ◎建設候補地の選定条件

- 新斎場の建設候補地は、斎場に求められる姿の実現が可能な土地を選定し、3つの条件を基本として候補地を選定しました。
- ①斎場に求められている姿が、規模や形態、周辺の景観などから実現可能であること
  - ②交通利便性が、距離や時間、経路などの面で高いこと
  - ③土地利用が、インフラや諸条件などの面で可能であること
- ※幹線道路からできるだけ生活道路（民家前）を経由しないで進入できること

## ◎「柳沢地区・山田インター北側」を予定地に

※既存の土地利用計画や各種法規制を変更・解除できない土地は除く

委員会においてさまざまな候補地を検討し評価した結果、

「山田第1地割（柳沢地区）三陸縦貫自動車道山田インター北側の民有地」を建設予定地として選定しました。理由としては次のとおりです。

- ・町の中心部からの距離が適当であり、町内各地区からのアクセスが容易
- ・山田インターに接し豊間根・船越地区からもアクセス良好
- ・町外利用者にも分かりやすい
- ・周囲が山と緑に囲まれた閉鎖されたエリアで、周辺環境としては好条件

## ◎予定地調査に着手します

建設予定地について、これから測量や地質調査、環境調査等により、新斎場の建設場所として適当かどうか等の調査に着手します。また建物や駐車場等の配置や規模を検討する等の基本計画を策定し、時期を見て、住民説明会を開催する予定です。

## ◎平成30年供用開始を目標

火葬炉試運転や従業員の技術

## ◎新斎場に「ご理解ご協力」を

斎場という施設はマイナスイメージが大きく、周辺に建設されることに抵抗を持つ方も少なくありません。しかし、最新の火葬炉は「無臭・無煙・無公害が絶対条件」であり、建物も無煙突で文化施設的外観です。東日本大震災では、斎場の重要性が再認識されました。

斎場の目的は「大切な人を偲び心やすらかに見送る場所」であること、そして、「すべての町民が必ず使う施設」であることから、新斎場建設へのご理解ご協力をお願いします。

## ◆新斎場の建設予定地

